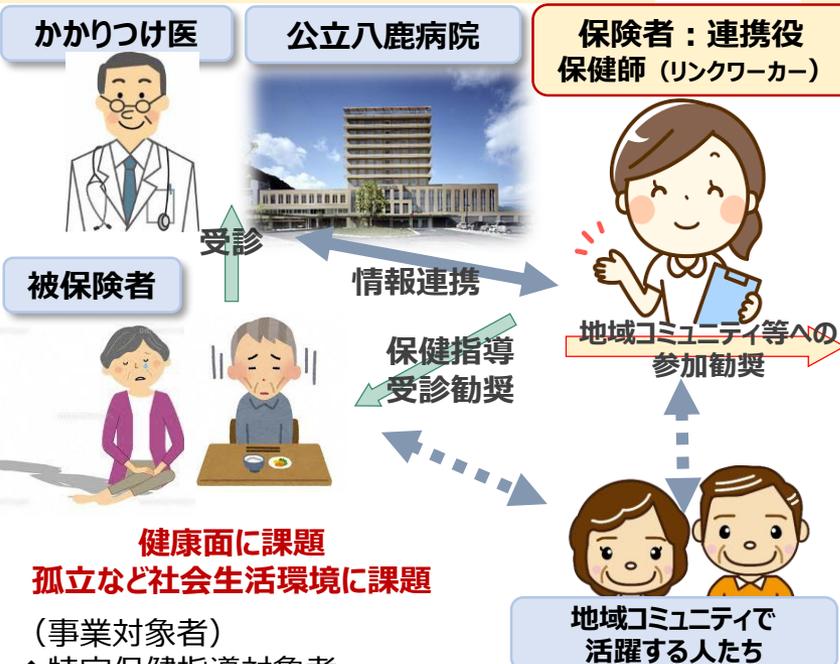


【兵庫県養父市】中山間農業改革特区における社会全体で支える予防・健康づくり事業 ～農業と芸術文化を含めた社会とのつながりによる健康加齢実現に向けた仕組みづくり～

- ◆目的 孤立などに起因する疾病の重症化が懸念される被保険者について、かかりつけ医と連携して重症化を予防するとともに、孤立を解消するために地域コミュニティや社会資源に繋げる取組を行い、被保険者の健康面だけでなく社会生活面の課題解決につなげる仕組みを構築する。
- ◆内容
 - ①医療機関とリンクワーカーの連携による疾病の重症化予防の取組と社会生活面のリスクへの相談支援の仕組みづくり
 - ②リンクワーク機能充実のための人材育成及び社会的処方プログラムの作成
 - ③地域コミュニティ等の見える化と共有及び地域特有の社会資源（農業・芸術文化）との連携
 - ④実態・ニーズ把握と地域特性の分析

① 保健指導と相談支援の仕組みづくり



健康面に課題
孤立など社会生活環境に課題

- (事業対象者)
- ◆特定保健指導対象者
生活習慣病の治療が必要
 - ◆糖尿病重症化予防保健指導対象者
 - ◆健康状態不明者
65～74歳の単身世帯の医療・健診未受診者

② リンクワーク機能充実のための研修(人材育成)

- ＜連携役1層＞
- ・保健・地域包括担当保健師、生活相談支援員、認知症支援推進員
 - ・公立八鹿病院医療ソーシャルワーカー、看護師
 - ・薬剤師
 - ・高齢者相談支援センター支援員
 - ・社会福祉施設の介護支援専門員 など
- ＜連携役2層＞
- ・民生委員、ふれあい訪問員など

養父市版社会的処方プログラムの作成

情報交換

参加勧奨

地域コミュニティ&特有の社会資源



③ つなぎ先の見える化と共有 通いの場として農業・芸術文化の活用

④ 地域における健康面及び社会生活面に関する実態・ニーズ把握と分析

※兵庫県保険者協議会は県下の保険者に医療関係団体に横展開を図る

～農業と芸術文化を含めた社会とのつながりによる健康加齢実現に向けた仕組みづくり～ 事業実施に向けて（具体的内容と方針）

◇対象者の選定

- 健康面とあわせて孤立など社会生活面に課題がある者を選定（同意を得た者）
- ・特定保健指導から保健師等が選定
- ・地域包括支援センター専門職、民生委員等の情報から選定
- ・かかりつけ医が選定
- ☞健康に影響する社会的な要因（SDH）チェックシートを作成するなど簡易な仕組みづくり

◇かかりつけ医との情報連携とフィードバック

- ・各種健診・検診結果、治療経過、現在の処方、既往歴、生活環境などの情報を連携
- ・必要な栄養・保健指導の実施方針の確認
- ・対象者の健康面及び社会生活面の改善状況等を、かかりつけ医に適宜、フィードバック
- ☞情報連携シート及びフィードバックシートなど効率的な仕組みづくり

◇リンクワーク機能の充実

- ・リンクワーク機能を担うことが期待される医療・介護・福祉等職種（連携役1層）への研修
- ・対象者の社会生活面の課題を早期に察知できる地域に根付いて活動する人たち（連携役2層）への研修
- ・連携役1層、連携役2層の情報交換の場づくり
- ☞連携役の役割、取組内容、人材育成等を取りまとめた養父市版社会的処方プログラム等を作成【委託】

◇必要な地域コミュニティ&社会資源へのつながり

- ・対象者の社会生活面の課題解決に向け、必要な地域コミュニティへつなぐ
- ☞活動内容を分析・整理したうえで、地域コミュニティ
・社会資源マップを作成【委託】
- ☞地域コミュニティ等との情報共有と理解浸透

農業・芸術文化の活用

- ・農業分野
- ☞養父市シルバー人材センター農業会員による農業指導等による通いの場づくり
- ・芸術文化分野
- ☞「おおやアート村ビッグラボ」「やぶ市民交流広場」と連携したアート指導、イベント参加等による通いの場づくり

◇地域における健康面及び社会生活面に関する実態・ニーズ把握と分析、事業評価・効果検証

- ・アンケート調査の実施
- ☞65歳以上（要介護者除く）の高齢者への悉皆調査を実施、各自治協議会ごとの分析【一部委託】
- ・研究機関による効果評価方法の提案等
- ☞京都大学社会疫学分野研究室による効果評価方法、アンケート分析を踏まえた社会的処方のシステム構築の提案【委託】